



ハヤブサ

ニュース No.53

2020. 10. 12

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

絶滅危惧種
京丹後のハヤブサ

ハヤブサ前号でお知らせしたように、今年の米軍基地いらんちゃフェスタ 2020in 丹後は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、11月8日（日）に規模を100人以下に縮小して京丹後で開催されます。京都連絡会・近畿連絡会は、この地元での集会に代表参加という形で参加します。

また、例年のようにバスや車を連ねて現地の集会に参加することはできないので、京丹後での本集会に連携した京都市内での集会を11月8日（日）に開催します。会場を京都府部落解放センター四階ホールとして13時30分から開始し、集会后にデモを行う予定です。

経ヶ岬の米軍基地をめぐるのは、この間、15人の米軍関係者のコロナへの感染が相次いできました。それは在日米軍内でのクラスターの発生の一部と言えるものです。米軍・防衛省は、感染者の人数こそ公表したものの、コロナ感染の抑止のために不可欠な濃厚接触者や行動履歴を公表していません。日米地位協定のもとで、米軍関係者は来日に際しての検疫を免除され、好き放題に動き回っており、感染者についての必要な情報も開示されていないのです。米軍関係者の爆発的な感染拡大が発生した沖縄の現状は、まさにそのような日米地位協定のもとで民衆の命が脅かされていることを示しています。

11月8日の京都市内での集会では、このような米軍・防衛省の対応を正面から批判し、日米地位協定の抜本的改定をあらためて要求して闘います。また、安倍前首相は9月11日に「新たな安全保障戦略」についての談話を公表し、自衛隊の「敵基地攻撃能力」の保持について政府としての方向を明確にすることを促しました。民衆の反発を恐れて「敵基地攻撃能力」という用語は用いていませんが、それは戦後の安保・防衛政策の枠組みであった「専守防衛」からの歴史的な転換をめざすものです。11月8日、新たに登場した菅政権と正面から対決し、集会とデモを成功させましょう。

集会の要綱

名称 米軍基地いらんちゃフェスタ2020in京都

米軍Xバンドレーダー基地撤去！

辺野古新基地建設反対！

日米地位協定の抜本的改定を！

沖縄にも京都にも日本のどこにも基地はいらない！

日時 11月8日（日）13時30分～15時15分（集会后に洛北高校前までデモ）

会場 京都府部落解放センター四階ホール

沖縄・韓国からのメッセージ 現地報告・基調提起 各府県からのアピール等

参加費 500円

主催 米軍Xバンドレーダー基地反対・近畿連絡会

辺野古新基地の設計変更 伴う県民意見書1万8904件 2013年の6倍



10.7 キャンプ・シュワブゲート前(土木技師沖本さん提供)

米軍普天間飛行場の移設に伴う名護市辺野古の新基地建設に向けた沖縄防衛局の設計変更申請の内容について、県は9日、県に寄せられた意見書が速報値で1万8904件だったと発表した。2013年に当初の埋め立て承認申請が公開された際の意見書数は約3千件だったため、今回の設計変更に対して寄せられた意見書の数は約6倍となった。

ジャカルタ中心部で大規模デモ 雇用法案に反発、催涙ガス弾も

2020年10月8日 【ジャカルタ共同】

インドネシアの首都ジャカルタ中心部で8日、国会で5日に可決された雇用創出に関する制度一括改正(オムニバス)法に反対する大規模な抗議デモが起き、治安部隊が催涙ガス弾を使用するなどして騒然とした。

混乱は大統領宮殿や独立記念塔(モナス)周辺で発生。催涙ガスで辺りは白く立ちこめ、大勢の人がせき込む中、断続的に発砲音が続いた。

数千人の若者らが集結しており、地元メディアによると、付近の警察の詰め所が放火された。

オムニバス法は、海外からの投資を促すため、退職金規定や最低賃金の算出法変更などを定めており、労働組合などが断固反対を表明していた。(共同通信)



「街なかピラ」の報告と お知らせ

報告

第103回 9月14日(月) JR山科駅 6人

第104回 9月26日(土) JR二条駅 8人

<街の人の反応>

- ◇基地って福知山のことやろ? 米軍基地? そんなもんいつ出来たんや?
- ◇(丹後から孫に会いに来たという高齢男性) コロナのことは問題やけど、基地の事はみんな口には出さへん。
- ◇米軍基地って海軍? えっ、米陸軍ですか?

～京都に米軍基地が造られたことを知らない人は、まだまだ多いです～

【今後の日程です】

第105回 10月15日(木) 百万遍 周辺

集合場所: 百万遍交差点の西北角

第106回 10月20日(火) 古川商店街周辺

集合場所: 東山三条交差点西南角

※ 時間はいずれも11:00～12:00です。

季節の変わり目です。くれぐれもお体大切に! その上での参加をお待ちしています。

連絡先: 090-5672-1597 (白井)

「10月例会」のお知らせ

日時 10月22日(木)18:30～21:00

場所 東山いきいき活動市民センター集会室

パンディミックがあぶりだした 「世界と日本」

発題 大湾宗則さん

共同街宣(辺野古埋め立て反対京都実行委員会)

10月15日(木)18:30

京都タワー前 連絡先 090-4643-2940

京都国際反戦デー集会 変えよう!日本と世界

10月18日(日)14:00～ 円山野外音楽堂

伊波洋一さん、白井聡さん、趙博さん

関生弾圧 10月8日 大阪ストライキ事件で 不当判決 文責：瀧川



不当判決に抗議する西山直洋執行委員

大阪地裁刑事11部佐藤卓生裁判長は、西山直洋執行委員ほか1名に対し「懲役2年6月。西山に未決150日、ほか1名には70日を参入。執行猶予5年」という有罪判決を下した(求刑2年6月)。

2017年12月に行われたストライキは、セメント輸送や生コン輸送労働者の賃金を上げるためにセメント資本に対し実施したストライキである。

ストライキは各所で行われ、大阪ストライキ事件は、約束を守らず挑発をくりかえす企業の門前で怒りの声を上げたことが、威力業務妨害として事件とされたものです。

そもそも、憲法28条で認められ、労働組合法で刑事免責されている労働組合のストライキを事件とすることそのものが不当と言わざるを得ません。

判決の不当性の1番の問題点は、直接の労使関係がないという理由だけで、正当な団体行動と認めなかったことである。産別労組の労働者が、直接の労使関係がないという理由で団体行動ができないという理由で団体行動ができなければ、関生支部が進めてきた産業横断的な組合活動はできなくなってしまう。労使関係を企業内労使関係に封じ込めようとする資本・権力の意図が明確に示された不当な判決といえる。

更に、懲役2年6月は検察の求刑に満額で応えたものであり、執行猶予5年は威力業務妨害罪では最長の年数とのことで、今後の運動展開を制約する意味もある。労働組合活動をさせない保釈条件とあわせ今回の不当判決は、弾圧がまさに現在進行中であることを示している。

京都では、保育所に提出する就労証明を要求したことや正社員要求をしたことが強要・恐喝未遂とされた加茂生コン事件が、10月1日結審し、12月17日判決です。完全無罪をめざし、11月24日に集会を行います。多くの皆さんの参加を呼びかけます。



10月8日、
雨の中、無罪を要求して大阪地裁前に全国から集まった200名を超える労働者・市民

**連帯ユニオン関生支部への
労働組合つぶし大弾圧を
許さない！ 11.24集会**

日時：11月24日(火) 18:30

場所：キャンパスプラザ京都

4F 第2講義室

資料代：500円

**講演：吉田 美喜夫さん
立命館大学名誉教授**

**公判報告：森 博行 弁護士
大阪労働者弁護団代表幹事**

X バンドレーダー基地をめぐる 最近の状況から

池田高巖

米軍はコロナ関連情報の全面開示を

X バンドレーダー基地所属の米兵らによる新型コロナウイルスへの集団感染は、8 月中旬までに 15 人の感染者を出したところであったん落ち着いたようだ。

この過程では、感染経路や濃厚接触者など感染拡大防止に必須の情報を米軍側が保健所に提供しないことが大きな問題になったが、京丹後市からの再三の要請を受けて、9 月に入って一部の情報が開示された。しかし、地元の住民の方々は不十分だと感じており、また、今後も基地関係者に対する定期的な検査など積極的な感染防止策の実施を米軍や防衛省に求めている。

土曜も続く二期工事

2018 年 4 月に始まった二期工事は、コロナ禍の中でも変わることなく進められてきた。私たちはこれを「基地の固定化」のためとして批判しているが、なかでも問題なのは、当初は「原則として行わない」とされていた週末の工事がいとも簡単に反故にされ、「工期の遅れ」を理由に相変わらず「土曜工事」が続いていることだ。周辺住民は週末の早朝から行き交うダンプによる振動で安寧な生活を奪われている。

ところで、この二期工事は米兵の宿舎などの厚生施設の建設のためのものだが、現在京丹後市弥栄町黒部のマンションに居住している米兵は、宿舎が完成すれば基地内に引っ越すのだろうか？それともやはり黒部と基地を往来するのか？これもまた当初の米軍・防衛省の説明との関係で問われるところだ。

「防御壁」の登場と

穴文殊参道の松枯れ

二期工事とは別枠として、米軍は穴文殊(清涼山九品寺)の参道の真ん中あたりから、お寺の真裏のあたりまで伸びる高さ 3 メートルほどの「防御壁」を建設した。これによって参道側からは以前よりも基地が見えにくくな

っている。

これについて防衛省は、米軍基地の「標準仕様」などと説明するが、他の在日米軍基地では見たことがない。また、(私たちが心配することではないが)基地全体を囲んでいるわけでもないのに、「防御」としてどのような意味をもつのかも不明だ。ただ、この「防御壁」の建設によって、地元の人々の信仰の対象である穴文殊は日当たりと風通しが悪くなり、湿気もこもってしまう状態になり、地元の人々はそれを怒っている。

また、このかん「京都府の自然 100 選」にも選ばれた穴文殊参道に並ぶ立派な松が次々と枯れている。私たちが直近に訪問した際も、業者さんが枯れた松の伐採作業をしていたところだった。その松は樹齢 400 年ほどだという。丹後全体で問題になっている松喰い虫によるものだというが、いずれにせよ、基地建設—「防御壁」の建設—松枯れによって、周辺の景観はかつてと比べれば、悲しいほどに変わってしまった。

追伸 松枯れのこと

みなさんへ 白井美喜子

前回、9 月 29 日(火)に宇川訪問で現地に行きました。

ちょうどその時に、穴文殊境内の枯れた松を業者の方が伐採しておられました。

伐採された松の切り口を見ると、添付写真のように青い色が入っていました。

業者の方の説明では「これが松くい虫の入った証拠」との事でした。スタッフの方で詳しい方があれば、教えてください。

いずれにしても「松くい虫」なら、他の松も枯れる危険があります。

防御の対処方法は、なかなか上手くいく方法がないようです。

いずれにしても、基地建設との関係の有無は気になりますが・・・



京丹後訪問日程

10月16日(金)と10月27日(火)

いずれも集合 8:30

集合地点 鴨川五条大橋西詰ガソリンスタンド前

(注) 配車の都合あり 090-7108-5508 池田まで